

Good Times Fly



ANA VISION 2005

第56期 第1四半期報告書

2005年4月1日～2005年6月30日



北海道・知床峠と国後島

A STAR ALLIANCE MEMBER



●表紙の写真

2005年7月に世界自然遺産に登録された北海道、知床。羅臼からウトロへ抜ける横断道路の遙か遠くに、国後島を望む。P10-13「ANAでひとつ飛び!」に、知床半島の旅を掲載しています。

6月

『AIR NEXT (エアネクスト)』初便就航! (6/1)

エアネクスト㈱は、競合他社を凌ぐコスト競争力の確保と小型機事業の戦略的な効率化を目指して、2004年8月20日に設立されたANAグループの新会社。エアニッポン㈱が100%出資し、運航拠点は福岡。使用機材はボーイング737-500 (126・133席)で福岡～小松 (2便/日)、福岡～石垣 (1便/日)に就航し、運航形態はANAとの共同運航。



今年で50年、『しあわせの花 すずらん』をお届け! (6/14) ～丹念に作成した『押し花』のしおりに『すずらの詩』を添えて～

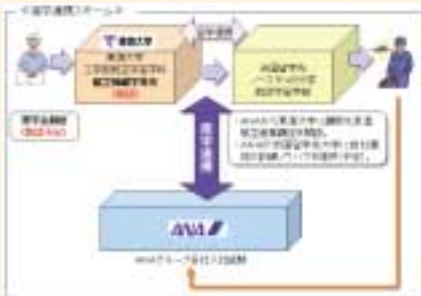
客室乗務員などが、全国33地区の赤十字病院をはじめとした52か所の病院に入院されている方々へ、すずらんを押し花にした『しおり』をお届け。この行事は1956年以来続けられ、今年で50回目。今回はしおりのほか、本活動に共鳴したアーティストによる『すずらの詩』も添えられた。



ANAが協力! 東海大学が国内初の航空機操縦士養成コースの新設を発表。 (6/21)

～2006年4月に工学部航空宇宙学科内に『航空操縦専攻』を設置予定～

ANAは東海大学と航空産業関連の講座で『産学連携プログラム』を実施し、講師を派遣するとともに、学生に対する奨学金制度を設ける。東海大学は他にも独立行政法人航空大学校 (宮崎県宮崎市)とも協力し、操縦士ライセンス取得のための留学先として米国ノースダコタ大学航空宇宙学部と調整を行っている。



神戸発着6路線 (羽田・札幌・沖縄・仙台・新潟・鹿児島) の就航を発表! (6/24)

神戸新空港は2006年2月16日の開港を目指し神戸沖で現在建設が進められている。開港すると大阪国際空港 (伊丹)・関西国際空港とともに関西圏3空港の一つとして機能。ANAではボーイング767、737、エアバスA320、DHC8などの中～小型機材で国内線ネットワークの充実を図る。ダイヤは本年11月末までに決定し、申請予定。



7月

航空貨物運送事業の新たな発展に向けて、 日本貨物航空株式会社 (NCA) 株を 日本郵船株式会社 (NYK) に譲渡することを決議。 (7/12)

ANAはこれまで27.6%のNCA株を保有し、同社設立以来NYKとともに筆頭株主であったが、今後は、ANAが国内、国際旅客輸送に次ぐ「第3コアビジネス」



として独自に航空貨物事業を展開することに。NCAはNYKの連結子会社として航空貨物輸送事業を展開する。今後、両社で正式に契約を締結し、株の譲渡を行う。

ボーイング767型貨物専用機の追加発注を決定 (7/29) ～4機目となる貨物専用機を導入し、航空貨物郵便事業を拡充～

貨物専用機1機を含む767型機3機の発注を決定。2006年1月には既に発注している3機目の貨物専用機が就航し、旅客機を利用しての羽田～佐賀の深夜貨物便が貨物専用機となる。また羽田～関西、中部～佐賀の各路線にも貨物専用機を順次投入予定。



8月

羽田～金浦間、1日2便に増便! (8/1～)

韓国向け路線は2004年度、搭乗率80%と好評を得ており、羽田～金浦間チャーター便を増便。運航機材はボーイング767-300型機を使用し毎日就航。

韓国日帰り出張も可能に!

羽田	09:15 → 11:35	金浦	12:55 → 14:55	羽田
	16:35 → 18:55		20:15 → 22:15	

※スケジュールは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。



『スターフライヤー』との業務提携基本契約を締結 (8/10)

㈱スターフライヤー (本社:福岡県北九州市) からの要請を受け、創業にかかわる支援および就航後の業務提携を実施していくことについて基本合意。双方のプラスとなるよう協力関係を構築予定。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第56期第1四半期報告書「ANA VISION」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第1四半期においては、中国への観光旅行需要こそ低調でしたが、国際線旅客、国内線旅客、貨物の各事業ともに概ね好調に推移しました。

また、燃油費の高騰はあったものの需給に適合した機材の投入などにより費用の増加を最小限にとどめ、その結果、営業利益は117億円、当期純利益は21億円となりました。

今回の特集にもございます通り、「安全」こそ当社経営の基盤であり、社会への責務であります。

当社では34年間お客様の死亡事故ゼロを続けておりますが、それに決して甘んずることなく、日々常に「安全の堅持」を最優先に緊張感をもって業務にあたるようANAグループの全役職員に指示しております。事故を経験したことのない役職員が大半を

占めるようになった今日においても、安全に対する意識を希薄にすることなく、安全をすべてに優先させるANAグループの文化を全役職員と共有し合って参る所存です。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2005年9月



代表取締役社長 山元 肇生

※本文中の記載金額、物量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

ANAグループ(連結)

連結損益計算書

(単位: 億円)

	当第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	前第1四半期 (2004年4月1日から 2004年6月30日まで)
営業収入	3,123	2,972
営業費用	3,005	2,883
営業利益	117	88
営業外収益	20	45
営業外費用	75	75
経常利益	62	58
特別利益	0	3
特別損失	24	10
税金等調整前当期純利益	38	51
税金費用	18	27
少数株主損益	△ 2	0
当期純利益	21	24

連結キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	当第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	前第1四半期 (2004年4月1日から 2004年6月30日まで)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	22	273
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	9	△ 246
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 356	△ 427
4. 現金及び現金同等物の換算差額	2	1
5. 現金及び現金同等物増減額	△ 322	△ 398
6. 現金及び現金同等物の期末残高	1,310	1,946

連結貸借対照表

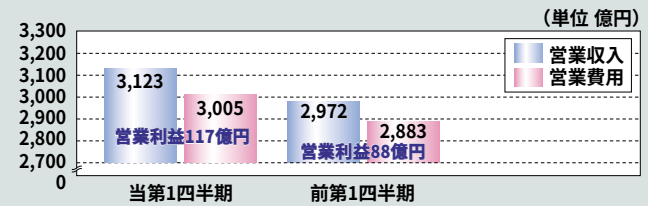
(単位: 億円)

	当第1四半期 (2005年6月30日現在)	前期 (2005年3月31日現在)		当第1四半期 (2005年6月30日現在)	前期 (2005年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	4,447	4,211	流動負債	5,466	5,064
固定資産	11,303	11,848	固定負債	8,017	8,756
繰延資産	5	6	負債合計	13,484	13,821
			少数株主持分	98	102
資本の部			資本の部		
資本金			資本金	1,115	1,072
資本剰余金			資本剰余金	778	736
利益剰余金			利益剰余金	282	312
その他			その他	△ 2	22
			資本合計	2,174	2,142
資産合計	15,757	16,066	負債、少数株主持分及び資本合計	15,757	16,066

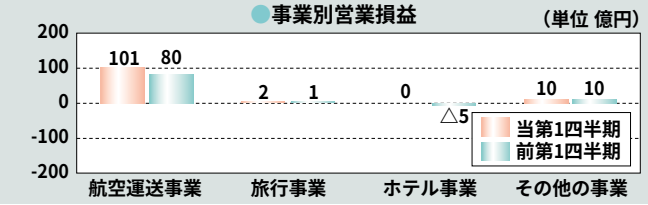
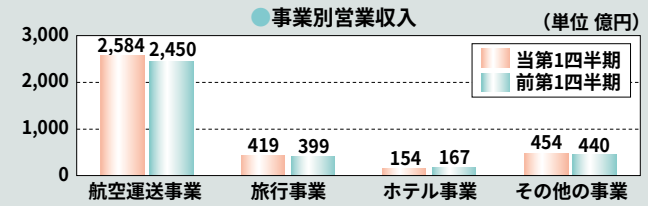
第1四半期の概況

- 国内線旅客需要は堅調に推移
- 国際線も概ね好調であったが、反日デモの影響により中国路線の観光需要はやや低調な動き
- 貨物収入は国内国際ともに増収を確保
- 燃油費の増大は旅客運賃収入の増収ならびに機材のダウンサイジング等のコスト削減によって一定度吸収
- 結果、営業増益を確保。経常利益は62億円、当期純利益は21億円を計上

営業収入・営業費用比較



セグメント情報



(注) 上記事業別営業収入および営業増益には事業区分(セグメント)間の取引額が含まれています。

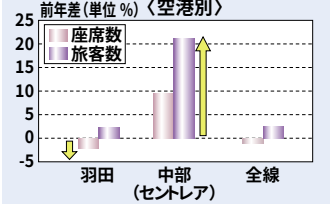
キャッシュ・フロー、バランスシート

- 資産の部は主に航空機の売却や減価償却により有形固定資産が減少しました。
- 負債の部では借入金の返済等により有利子負債が369億円減少しています。
- 株主資本については、当第1四半期の純利益や仕債の株式転換などにより増加し、株主資本比率は13.8%に上昇しました。

2005年4月～6月期(3か月間)の状況

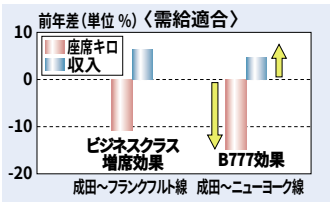
国内旅客

「愛・地球博」効果もあり旅客需要は概ね堅調に推移し、前年同期比102.6%となりました。前期にオープンした羽田空港新旅客ターミナル及び中部国際空港(セントレア)は「使い易さ」の面からいずれも好評で、羽田空港では提供座席数を前期に比べ減少させたにもかかわらず旅客数は前年同期比102.2%となり、セントレアの旅客数は前年同期の小牧空港の旅客実績に比べ121.3%となりました。座席利用率は需要に見合う機材を投入し、ダウンサイズを進めたこともあり62.2%と2.2ポイントアップしました。



国際旅客

欧米路線がビジネス需要、観光需要とも引き続き好調であったほか、リゾート路線もゴールデンウィークをはじめ期中を通じ概ね好調に推移しました。中国路線では成田～広州線、中部～上海線を相次ぎ開設し、ネットワーク拡充を図りました。4月の反日デモ発生後一時的に急速に落ち込んだ中国への需要は、その後鎮静化するにつれビジネス需要はほぼ回復しましたが、観光需要はまだ完全には回復に至っておりません。国際線全体としては、提供座席キロは前年同期比99.6%にとどめたことから、旅客キロは同96.1%、旅客数は同99.0%となっておりますが、これは当社の方針として、収益性の高いビジネス需要に重点を置いた事業展開と運航機材の需給適合を行っていることによるものです。



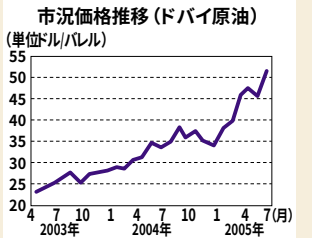
トピックス 『燃油費のヘッジ』とは？

ANAの航空運送事業において、燃油費(燃料税を含む)は費用のおよそ15%を占めており、燃油価格の高騰は収支に重大な影響を与えます。そこで価格の高騰次第で収益が不安定となるのを最小限に食い止めるため“ヘッジ取引”を行っています。実際のヘッジ取引は非常に複雑ですが、身近な事例に置き換えてお話しさせていただきます。

仮にガソリンを年間1,000ℓ消費する家庭があるとします。そしてもしガソリンが1ℓあたり70円に下落したり200円に高騰するなど値動きが激しいと、毎月の家計支出の計画が立てられず、ガソリンが高騰すると、家計が赤字となってしまうかもしれません。そのようなとき「向こう1年間、どこでもガソリンを1ℓ100円で買える」という購入契約があれば、いくら高くなっていても1,000ℓまでは1ℓ100円で買えます。確かに、ガソリンの値段は、騰落が激しく1年間100円で固定することが必ずしも得なのかどうか分かりません。しかし、1,000ℓ分のコストを固定することになります。これがヘッジです。つまりヘッジの目的は、「結果的に得になりそうか」ということではなく、得か損かはともかく、とにかく家計におけるガソリン代を予め決めてしまふ、ということです。難しく言えば「価格の変動リスクを回避する」ということです。

ANAでは変動の激しい燃油価格に係わる費用を平準化し(※)、都度の燃油価格に影響されることなく増益を計上できるよう使用する燃料について24か月前から、四半期ごとに消費量の12%ずつをヘッジしております。

(※) ガソリンが100円の時だけでなく、80円や110円の時に購入契約を結んでおくことで価格の変動リスクをある程度分散できます。価格の違う契約を10件持っていたら、10ℓ給油するときに「10件の契約からそれぞれ1ℓ分給油してくれ」と指示することで、支払単価は10件の契約の平均単価になるということです。現実にはANAが行っているヘッジでは、そうした方法で価格変動リスクの分散を図っています。



航空運送事業の売上高

(単位: 億円)

区 分		事業年度	当第1四半期 2005年4月1日から 2005年6月30日まで	前第1四半期 2004年4月1日から 2004年6月30日まで	増 減
航空運送事業	国内線	旅 客 収 入	1,570	1,492	77
		貨 物 収 入	70	67	3
		郵 便 収 入	18	18	0
		手荷物収入	0	0	0
		小 計	1,660	1,578	81
	国際線	旅 客 収 入	527	500	27
		貨 物 収 入	124	110	14
		郵 便 収 入	6	6	0
		手荷物収入	1	1	0
		小 計	660	619	41
	航空事業収入合計		2,320	2,197	122
	そ の 他 の 収 入		264	253	10
	合 計		2,584	2,450	133

(注) 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

輸送実績

事業年度		当第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	前第1四半期 (2004年4月1日から 2004年6月30日まで)	前年比 (%)
国内線	旅客数(万人)	1,085	1,058	102.6
	座席キロ(千万座席キロ)*1	1,504	1,510	99.6
	旅客キロ(千万人キロ)*2	936	905	103.3
	利用率(%)*3	62.2	60.0	2.2
	貨物輸送重量(千トン)	100	98	102.0
	貨物輸送量(百万トンキロ)	97	96	101.6
	郵便輸送重量(千トン)	18	18	103.6
国際線	郵便輸送量(百万トンキロ)	20	19	103.9
	旅客数(万人)	93	94	99.0
	座席キロ(千万座席キロ)*1	620	623	99.6
	旅客キロ(千万人キロ)*2	445	463	96.1
	利用率(%)*3	71.8	74.4	△ 2.6
	貨物輸送重量(千トン)	57	57	100.8
	貨物輸送量(百万トンキロ)	266	266	100.1
	郵便輸送重量(千トン)	3	3	102.4
	郵便輸送量(百万トンキロ)	14	14	96.8

(注) *1. 座席キロ: (座席数) × (運航キロメートル)
*2. 旅客キロ: (旅客数) × (運航キロメートル)
*3. 利用率: (旅客キロ) ÷ (座席キロ)
4. 国内線にはBEXエアラインズ(株)および北海道国際航空(株)とのコードシェア便実績を含みます。
5. 国際線にはユナイテッド航空(成田～ニューヨーク線、関西～ホノルル線)およびエアー航空とのコードシェア便実績を含みます。
6. 国内線、国際線ともにチャーター便を除いております。
7. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

“安全がすべてに優先する” 社員一人ひとりが責任と誇りをもって 日常業務に取り組める企業風土こそが 最大の安全対策だと考えています。

最近、公共交通機関の安全に対する問題意識が急速に高まっています。お客様の安全を守るためにANAグループが一丸となって取り組んでいるさまざまな具体策と、解決していかなければならない課題について、ANA総合安全推進委員会の委員長を務める大前副社長に聞きました。

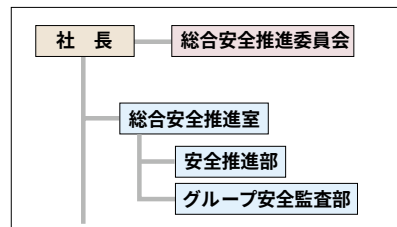


Interview

代表取締役副社長執行役員
オペレーション部門統括、整備本部長、
総合安全推進委員会委員長、総合安全推進室担当

大前 傑（おおまえ たけし）

●Profile
1943年生まれ。1967年ANA入社。整備本部羽田メンテナンスセンター、機体メンテナンスセンター副センター長等を経て1999年に取締役整備本部長、2004年代表取締役副社長執行役員（現職）



安全性を高めるために重要課題として
情報の共有化と監査によるチェックに力を入れています



定期的なメンテナンスを終え、万全な状態で羽田ハンガーを出るボーイング777-200型機。

――はじめに、大前副社長が役員として担当している「総合安全推進委員会」と「総合安全推進室」が果たしている役割をお聞かせください。

大前 総合安全推進委員会は安全に関する社内の最高機関として、安全にかかわる会社方針の決定や各部門に対する助言・勧告を行います。これをサポートし具体的な取り組みを行うのが、「総合安全推進室」です。「総合安全推進室」は、「安全推進部」と「グループ安全監査部」に分かれていて、オペレーションの安全にかかわる体系的な仕組みを作り、安全を向上させるための活動を司るのが「安全推進部」、その仕組みがグループも含めて適切に機能しているかどうかを評価するのが「グループ安全監査部」の役割になります。役員をはじめ各部門の本部長からなる「総合安全推進委員会」と専門性の高い「総合安全推進室」という組織との両輪によって、安全管理を徹底しているわけです。

――組織的な対応に加えて、安全を管理するうえで最も力を注いでいるのは、どのようなことでしょうか。

大前 私たち航空会社は、仕事の一つひとつがすべて安全にかかわっているんですね。だから日々、正常かつ正確に飛行機を運航するという現場のアクティビティを全社で共有することが

きわめて重要であると考えています。

そのためには、常に現場で起こっていることを経営サイドが把握し、問題点を認識して迅速に対応していかなければなりません。当社では毎週火曜日の朝に羽田空港で「OR（オペレーション報告）会」という会議を開いて、社長以下経営陣が運航状況を細かく確認し、情報の共有とスピーディな問題解決にあたっています。

安全を管理するうえでもうひとつ力を入れていることは「安全監査」です。慢心や惰性に流されることなく、安全対策の仕組みが現状に即しているか、事業環境からの要請や法規に添っているか、そしてそれが決められた通りに実行されているかについて、「グループ安全監査部」の内部監査によってチェックしています。今、2001年から導入した「内部安全監査制度SAFER」（Safety Evaluation and Review Program）をグループ全体の安全監査へと拡張し、同じ人、同じ基準、同じリソースで評価できるようにしているところです。また、外部からの監査についても、1999年に加盟したスターアライアンスの一員として安全監査を受審してきました。さらに2004年の11月には、日本の航空会社として初めて

IATA（国際航空運送協会）の「IOSA」（IATA Operational Safety Audit）という安全監査プログラムに合格しています。

情報の共有化と安全監査を日常業務の中に定着させること。この2点が安全性を高めるうえで、今最も力を注いでいることで、これらは私たちANAの安全管理の基本となるものと考えています。

――最近のANAを含めた公共交通機関のトラブルが多発していることについては、どのように認識していますか。

大前 私たちが取り組まなければならない永遠の課題ともいうべきものが、そこにあるんです。今年の春に他社で起きた事故やミスについて、他人事だという意識は全くありませんでした。私たち自身の問題として捉えて、業務に反映するべく緊急安全ミーティング

を職場ごとに開いたり、1か月間にわたって総点検を実施するなど、安全対策の強化を図っていたのです。それにもかかわらずトラブルが頻発し、国土交通省航空局から厳重注意を受ける事態を招いてしまいました。改めて、お客様に多大なるご迷惑をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。

私たちがこれらのトラブルから学んだのは、長い間かけて積み上げてきた安全も、ほんの瞬間の心のスキで揺らいでしまうということです。昨日までずっと安全だったからといって、明日も絶対に安全だという保証はありません。原因究明と再発防止に努めるとともに、過去の実績を過信することなく、謙虚な姿勢で日常の業務と対峙していく必要性を再認識しました。

――人間である以上はエラーはどうしても起こり得ると思います。「ヒューマンエラー」の防止には、どのように取り組んでいるのでしょうか。

大前 「ヒューマンエラー」の多くは非常に簡単なミスなんです。ちょっとしたはずみに、普段は確実にやっているはずの手順がスッポリと抜けてしまう。これを未然に防ぐために「エラーをできるだけ起こさない訓練」「仮にエラーを起こしても早い段階でそれを発見して適切に修正するための訓練」を行っています。運航乗務員だけでなく、整備士や客室乗務員、運航管理者など対象も広がってきました。



ANAが1986年と1993年に発行（2005年改訂）したヒューマンエラー防止ガイドブック。



機体から取り降ろされた原動機は分解され、細部まできめ細かくチェックされる。

もちろん訓練だけではなく、機器やシステムによるバックアップ、わかりやすいマニュアルやチェックリストの整備なども含めた総合的なヒューマンエラー対策を実施していますし、これからもより効果的な対策となるように改善していきます。

——新しいテクノロジーや装備を導入することで「ヒューマンエラー」を含むリスクを軽減して安全のレベルを高めることは可能でしょうか。

大前 可能な限り最新の装備によって乗務員をバックアップするのは、経営者の責任だと考えています。当社は以前から新しい装備による安全対策に力を入れてきました。電波高度計の情報を使って地表への接近を音声で警告する「GPWS」(Ground Proximity Warning System)を全機装備しているほか、地形をデータベース化することにより地表への接近を予知して警告できる「Enhanced-GPWS」(強化型対地接近警報装置)もいち早く採用し、装備を進めています。また、今年の11月から導入する新型のボーイング737型機には、国内の民間航空では初めて「Head Up Display」を装備します。これは、飛行計器の表示を前方のパネルに投射するものです。飛行中のパイロットが外界から視線を外さなくてすむため、事故防止に大きく寄与するものと期待しています。



コクピットから外界を見ながら、フライトデータを確認できるHUD=ヘッドアップディスプレイ。

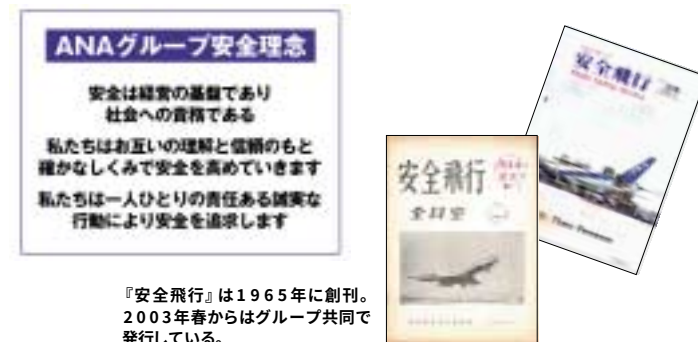
安全に対する意識向上のため必要なのは組織内のコミュニケーションを活性化すること

——サービスを競い合って定時性を優先するあまりに、安全性が疎かになるようなことはないでしょうか。

大前 お客様が航空会社に求める最大の価値は「短時間で目的地に到着できる」という利便性です。しかし、これはお客様の安全なくしては何の意味もありません。いくら速くても、定刻通りに運航できても、お客様に危害を生じさせるようなことがあっては無価値なのです。安全はすべてに優先する社会的な責務ですから、サービスと同列に位置づけるべきではありません。

——グループ会社の便によって日々の運航が支えられているケースも増えてきました。ANAの安全理念をグループ全体に浸透させることは難しいではありませんか。

大前 ANAグループの安全レベルはすべて共通であるべきだと考えています。昨年春に掲げた『ANAグループ安全理念』をカードにして、グループの社員全員が常時携帯できるようにしました。先に述べた『総合安全推進委員会』へグループ会社からも委員が参加することで、各社で発生した問題をグループ全体で共有するほか、安全情報誌『安全飛行』の共同発行や毎年7



『安全飛行』は1965年に創刊。2003年春からはグループ共同で発行している。



オペレーションコントロールセンター=OCCでは、ANAのフライト状況が絶えず監視されている。

月の「航空安全推進・航空保安強化月間」への共同の取り組みによって連携意識を高めています。

また、ANAグループのみならず、コードシェア先に対しても高いレベルの安全監査をクリアすることを要求しています。

最大の安全対策は社員が責任と誇りをもって仕事に取り組める企業風土作りにある

——経営効率を高めて収益向上をはかるために行う、整備業務の外注化や海外委託などのコスト削減策が、安全対策と二律背反するようなことはないのでしょうか。

大前 整備に関しても、自社整備とグループ会社の整備、海外整備会社への委託の3つの形態があります。自社とグループ整備会社は「TEAM ANA」という運営体制のもと、単純な整備から一歩踏み込んだ「安全に飛ぶこと」を目的として全く同じレベルの整備を実施しています。海外の整備会社を選ぶ際にも、私たちが要求する技術水準と品質を満たしていることが必要条件となっています。そのうえで、ANAの飛行機を喜んで整備してくれるかどうか大きなポイントになるんです。お互いに強い信頼関係を築いて、私たちの整備に対する思いを共有できる会社へ委託しています。これは単なるコスト削減ではありません。今の時代背景において、リソースを最大限に活用する中で確実に安全を確保していくための構造改革の結果なのです。だから整備のクオリティは決して後退していません。むしろ大きく前進していると胸を張って言うことができます。

——過去に起こった事故を教訓として活かしているようなことはありますか。

大前 1971年7月30日に起きた雫石の事故から30年以上経ちますから、当時を知らない社員も多くなっています。そうした世代へ事故の記憶を引き継いで、つねに思い出してもらう機会を増やすように努力しています。教育や研修だけでなく、事故資料

の展示施設を設置することも検討中です。事故の怖さを伝えることで、絶対に間違いを起こしてはいけないという緊張感をグループの全社員がもてる環境を作っていきたいと考えています。

——2万人以上の航空運送に携わるグループの社員全員の安全運航に対する意識を高めていくために必要なのは、どんなことでしょうか。

大前 安全性を向上させるには、社員一人ひとりが「約束事を守る」ことの大切さを徹底して共有化しなければなりません。それは、組織として「約束事を守る」という価値観をもつことでもあります。その中で働いていれば、自然に守るようになる、守らなければ恥ずかしいという風土を作ることです。万一守れなかった場合にも、正しく報告できるような風通しの良い組織でなければなりません。

今、社長が空港や事業所に足を運んで社員と語り合う「ダイレクトーク」や、経営トップが安全について直接社員と話し合う「安全トップキャラバン」を実施しています。経営トップと現場の社員がコミュニケーションする機会をもつことで、さまざまな問題を共有化し、早いタイミングで対処することができます。

自分の発信した情報がきちんと伝わる、意思の疎通ができる組織であれば、個々の業務に対する意識も高まるでしょう。それは仕事の喜び、生きがいにつながるはずです。社員が責任と誇りをもって自らの仕事に取り組める企業風土を作ることこそが、最大の安全対策であると考えています。



コクピット内をくまなくチェックするANAメカニックたち。



第60回定時株主総会のご報告

2005年6月28日(火)午前10時より、東京都港区赤坂の東京全日空ホテル「プロミネンス」において、山元峯生取締役社長を議長として開催いたしました。当日出席された株主の方は1,728名で過去最多となりました。

ANAグループ連結業績をナレーションと画像にて説明後、「利益処分案承認」、「定款変更」等全5議案が上程され、質疑応答に移りました。15名の株主の方より、ご質問や貴重なご意見を頂戴し、その後すべての議案が承認・可決され、1時間55分で閉会いたしました。質疑応答の内容の一部をご紹介します。

第六十回定時株主総会 次第	
一、開会	一、報告事項
	第五十五期(平成十六年四月日から平成十七年三月三十一日まで)連結貸借対照表及び連結損益計算書ならびに監査人による監査意見の報告事項
	第五十六期(平成十七年四月日から平成十七年三月三十一日まで)監査報告書及び取締役会決議による自己株式取得に関する事項報告の件
	二、議案事項
	第一号議案 第五十五期利益処分案承認の件
	第二号議案 定款一部変更の件
	第三号議案 取締役上田正彦氏の件
	第四号議案 監査役(全選任)の件
	第五号議案 監査役の報酬額改定の件
一、閉会	
平成十七年六月十八日	
全日本空輸株式会社	



Q1 配当金が3円とは少なすぎるのでは?

A 当期においては、燃油費の高騰等厳しい環境下にはあったものの積極的な営業施策と徹底したコスト削減により営業利益643億円(単体)、当期利益104億円(単体)を計上し、前期に引き続き3円の配当とさせていただきます。3円という配当金は決して高配当とはいえないと考えておりますが、アジアNo.1エアラインとして成長を遂げていくためにはさらに内部留保を蓄え、財務体質をより強化していくことが喫緊の課題であると考えております。今後とも早く成長の基盤を整えて増配できるよう最大限努力してまいります。

Q2 株主優待より「超割」等の営業割引運賃のほうが安い場合があるのはなぜですか。

A 営業割引運賃は、閑散期などの需要喚起を目的として設定しているものであり、株主の皆様は優待運賃でご搭乗いただくための株主優待制度とは趣旨が異なるものです。従って、営業割引運賃には季節、路線等により、また運賃の種別により確かに株主優待運賃より安い設定もありますが、それらがすべての便に年間を通じて設定されているわけではなく、ご予約やご搭乗便の変更等についても様々な制約が課せられております。年間を通じ何らの制限なくご利用いただける株主優待制度は有用性、利便性の面で営業割引運賃よりも優位性を持たせております。

Q3 営業外費用の「その他」249億円(単体)の中身は? またその中に政治献金は含まれていますか。

A 営業外費用の「その他」で一番大きいものは当期退役させたボーイング747SR型機5機及びボーイング767-200型機1機をはじめとする航空機関連の除売却損、次いで退職給付に係る費用等です。政治献金はこの中には入っておりません。

ご 案 内

下記資料をご希望の方にお届けします。下記までご連絡ください。

『環境報告書(2005年度版)』

9月末発行予定

kankyou@ana.co.jp

FAX 03-5757-5048

『CSRレポート』9月末発行予定

csr@ana.co.jp

FAX 03-6735-1085

(表紙はイメージです)

※数量に限りがありますので在庫切れの場合はご容赦願います。





でひとつ飛び! vol.5

知床半島

大自然の宝庫、世界遺産を旅する

2005年7月、日本で3番目の世界自然遺産に登録された知床。
アイヌ語で“地の果て”＝“シリエトク”に由来するこの地に、
今も息づく大自然の営みを五感で感じたい…。



広々とした田園の向こうに知床の山々。このスケール感
は北海道ならではの魅力

知床MAP



路線バスで巡るのも、のんびり
した旅の楽しみ



海の幸もそんぶんに

車道わきにヒグマが現れる
ことも。注意して



知床五湖の湖面に映る知床連山。周囲の自然の豊かさにも目を奪われる

旅のスタイル
自由自在!!

『ANAスカイホリデー 北海道』

2006年3月31日までの毎日出発（一部コースを除く）

2005年7月14日、知床が世界自然遺産に登録されました。
国内パッケージツアー『ANAスカイホリデー』では、今注目の
知床をより深く知る旅を提案します。知床のネイチャーガイド
による解説や冬にはドライスーツを着用して真っ白な流水
と海の大地を体験する『流水ウォーク』など、奥深い旅がお
楽しみいただけます。また、抽選でおいしい『北の味覚』プ
レゼントなどの『道東キャンペーン』も実施中です。

ツアーに関するお問い合わせ先 本誌14ページのANAスカイホリデー
予約センターまたは『ANAスカイホリデー 北海道』『旅ドキ北海道』パ
ンフレットをご覧ください。

主 催 ANAセールス株式会社

ANAグループ株主優待券で通常旅行代金の7%割引でご利用いただけます。

発売中!



根室中標津空港から羅臼～知床峠へ

羅臼は“魚の城下町”とも呼ばれている。スケトウダラや昆布などの海産物が豊富。最近ではテレビドラマ『北の国から 2002「遺言」』の撮影地としても人気だ。また、国後島を間近に見ることができる。知床峠からの眺望には、思わず『知床旅情』のフレーズが浮かぶ。



【純の番屋】
『北の国から』の撮影に使われた番屋。実物は少し北の相泊に。こちらレプリカが中で食事ができる



【羅臼港】
大小さまざまな漁船が停泊。ホエールウォッチングなどの観光船も出る

おみやげ

らうす道の駅深層館
(舟木商店有限会社)

羅臼港にほど近いラウス道の駅深層館内の舟木商店有限会社。カニやホッケ、ウニなどの海産物のお土産が豊富にそろ。地方発送もOK。飲食店もあるので、羅臼の海の味をその場で楽しめる。
目梨郡羅臼町本町361
Tel.01538 (7) 5666



【知床峠】
知床半島の東西を結ぶ知床横断道路の頂上。標高738mからのパノラマは清々しい



【羅臼岳】
稜線の美しい羅臼岳は標高1,661m。右の稜線に沿って目を展じていくと、根室海峡の向こうに国後島が

自然の宝庫、知床五湖を大散策

知床五湖に川はない。豊かな湧水が地表にわき出して湖をなしている。もっとも大きな湖は二湖。周囲を歩けば森の木々に残るヒグマのツメ跡も観察できる。一湖、二湖のみをまわることもできるが、できれば五湖全部を巡り周辺の自然を堪能したい。



五湖の遊歩道を散策すれば、大自然の営みに出会う

ネイチャーガイド／NPO活動

特定非営利活動法人知床ナチュラリスト協会 Tel.01522 (2) 5522
http://www.shinra.or.jp

●知床五湖ガイドウォーク(約2時間) 大人¥4,500/小人(小学生)¥1,500
●フレベの滝ガイドウォーク(約1時間30分) 大人¥3,000/小人(小学生)¥1,000
●流氷ウォーク(約1時間30分) 大人¥5,000/小人(小学生)¥2,500
岩山直さん。フレベの滝周辺や知床五湖などは誰でも入れるが、ネイチャーガイドをお願いするのがベスト。動物や植物、風景や歴史などについてリアルに解説をしてくれ、旅が何倍も楽しく、有意義になる。

ネイチャーガイド、岩山さんが説明しているのは木に刻まれたヒグマのツメ跡

【知床観光船『おーろら』】

4月末ごろ～10月末ごろまでウトロ港から出港。定員400名の大型船で快適な海の旅が楽しめる。冬期は網走流氷観光砕氷船として運航
Tel.01522 (4) 2147
●知床岬航路(3時間45分) 大人¥6,000/小人(小学生)¥3,000
●硫黄山航路(1時間30分) 大人¥2,700/小人(小学生)¥1,350



【オシンコシンの滝】

高さおよそ80m。滝の流れが2つに分かれているので別名『双美の滝』とも。ほととほる瀑布の周囲は清涼な雰囲気

世界自然遺産『知床』

2005年7月、南アフリカ共和国ダーバンで開かれた第29回世界遺産会議において、白神山地、屋久島に次いで、日本3番目の自然遺産として登録された。美しく豊かな自然は、まさに、人類共通の宝物である。

【オホーツク海の夕陽】

ブユニ岬周辺からは、水平線にストンと沈む落日がみごと。雲に映る夕映えに心をうたわれる

※2005年7月20日～8月31日の期間お客様がANAマイレージクラブで貯めたマイルを世界自然遺産保護のために寄付できる“知床の自然保護寄付金マイル”を特典の一つとして新設。受付終了後知床の自然保護・保全事業に対し「ANAマイレージクラブ会員有志一同」として送付予定。

味

海産物が豊富な知床。ウニやいくら、サケ、カニなど、新鮮な海の幸を生かした味には事欠かない。なかにはトド肉定食なるものも。旅ならではの味を楽しみたい。

まるみ食堂

目梨郡羅臼町麻布町
Tel.01538 (8) 2146
営業時間 10:00～20:00
(日曜日は～15:00ごろ) 不定休



トド肉定食
¥1,890

一休屋

斜里郡斜里町ウトロ東13
Tel.01522 (4) 2557
営業時間 11:00～不定休



ウニといくらのハーフ丼
時価

知床観光の一大拠点、ウトロ

オホーツクの自然を体感するさまざまなプログラムがそろ。ウトロ。フレベの滝や知床五湖などを歩いて見るコースが整備されているし、海上から知床半島の断崖や瀑布を眺められる観光船も出ている。エゾジカやオオセグロカモメなどの野生動物を間近に見ることもできる。



【フレベの滝】

100mを超す断崖が続く知床半島の岩壁からは、いくつかの滝が流れ落ちる。このフレベの滝は地下水がしみ出し、中腹から海へと注ぎ込む。別名『乙女の涙』とも呼ばれる美しい滝だ



【オロンコ岩】

ウトロ港にある巨岩。203段の階段を昇ると頂上はお花畑。オホーツク海の見晴らしも絶品だ



ちょっと足をのばせば...

ウトロから西の網走市方面に足をのばせば、丘陵地に広がるジャガイモ畑や牧草地の中をドライブできる。また、知床を世界自然遺産たらしめた“流氷”を解説する『流水館』もあり、流水を見る前にぜひ立ち寄りたい。



【東オホーツクシーニックバイウェイ】

斜里～東藻琴～女満別～網走。ゆるやかな丘陵地に沿うように道路が延びる

【オホーツク流水館】

流水体験室ではマイナス18℃の世界を体感、本物の流氷にさわることができる。

網走市宇天都山245-1
Tel.0152 (43) 5951
営業時間 8:00～18:00
(11月～3月は9:00～16:30)
入場料 大人¥520/高校生¥420/小・中学生¥300



濡れたタオルをびゅんびゅんまわすとあつという間にこんな形に!

ANA国内線ご搭乗優待

1,000株以上ご所有の株主の皆様は、ANAの国内営業全路線でご利用になれる「株主優待券」と「株主特別優待券」を発行いたします。

優待券1枚で片道1区間がご搭乗時片道運賃（普通運賃、小児の場合は小児運賃）より50%割引でご利用になれます。

スーパーシートプレミアムには、優待券のご利用で別途株主様向けの運賃がございます。（注）

※ご予約、空席、運賃照会等に関しましては、国内線予約・案内センターにお問い合わせください。

※株主優待割引利用時のANAマイレージクラブにおける積算マイルは、区間マイルの75%となります。

（注）スーパーシートプレミアムの航空券購入期限は、ご予約日を含め6日以内です。

- 優待券発行基準日 **3月31日(5月下旬発送)**
 - ・優待券の名称 **株主優待券**
 - ・優待券の有効期間 **6月1日から翌年5月31日まで(1年間)**
※有効期間内はいつでもご利用になれます。

- 優待券発行基準日 **9月30日(11月下旬発送)**
 - ・優待券の名称 **株主特別優待券**
 - ・優待券の有効期間 **12月1日から翌年5月31日まで(半年間)**
※有効期間内はいつでもご利用になれます。

●優待券発行枚数表

ご所有株式数	発行枚数
1,000株 ～ 1,999株	1枚
2,000株 ～ 2,999株	2枚
3,000株 ～ 3,999株	3枚
4,000株 ～ 9,999株	4枚 + 4千株超過分2,000株毎に1枚
10,000株 ～ 999,999株	7枚 + 1万株超過分4,000株毎に1枚
1,000,000株 ～	254枚 + 100万株超過分8,000株毎に1枚

※但し1枚未満の端数は切り捨て
（例）1,000株ご所有の場合→1枚発行
5,000株ご所有の場合→4枚発行

ご利用上のご注意

- 国内線航空券片道1区間につき、お一人様本券1枚が必要となります。
- 株主様ご本人はもちろんのこと、株主様以外の方でもご利用になれます。
- 本券と当社所定のその他の割引とは重ねてご利用になれません。
- エアー北海道便（ADK）、エアー・ドゥ（ADO）、IBEXエアラインズ便（IBX）はANA便名のコードシェア便のみご利用になれます。
- インターネットからご予約される場合には「普通運賃」（スーパーシートご利用の場合は「スーパーシートプレミアム運賃」）でご予約ください。
※チケットレスサービスはご利用になれません。
- 本券ご利用の際は、ANA国内発券カウンターまたはANA取扱旅行代理店等で航空券をご購入になります。なお、一部ご利用にならない店舗がございます。
- 季節運航・休止等により、ご利用にならない場合がございます。
- 本券を使用して航空券をお求めの際、航空券自動発売機はご利用になれません。
- 本券の有効期間内に航空券をお求めになると、航空券の有効期間内のご搭乗が可能です。但し、航空券面額とご搭乗便の適用運賃に差額がある場合は、ご搭乗に際し、差額調整が必要となります。
- 本券を使用して航空券をお求めの後、ご搭乗をとりやめ払戻しをされる際、優待券の有効期間内、かつ航空券の払戻期間内に限り「優待証未使用証明書」をお渡しいたします。優待券の有効期間内は「優待証未使用証明書」を提出していただければ、再度ご利用になります。
- 本券の有効期間経過後はご利用になれません。
- 本券は再発行いたしません。

ANAグループ各社優待

3月末または9月末で1,000株以上ご所有の株主の皆様はANAグループ各社でご利用になれる「ANAグループ優待券」をお一人様1冊発行いたします。

ANA HOTELSのご優待

ANA HOTELS（国内）でのご宿泊、ご飲食、及びご婚礼などの催しにご利用になれます。*但し優待割引がご利用にならないホテルも一部ございます。ご予約、ご注文の際は優待券ご利用の旨お知らせください。

- ◆ご宿泊ご優待（30%割引券 3枚）
国内すべてのANA HOTELSで優待券1枚で1室何泊でもご利用になれます。但し、一部割引率が異なるホテルもございます。
- ◆日曜・月曜・祝日ご宿泊ご優待（50%割引券 3枚）
但し、一部のホテルではご利用になれません。
- ◆成田全日空ホテルご宿泊ご優待（50%割引券 3枚）

期間限定 2005年6月1日～2005年11月30日

- ◆岡山全日空ホテル（8月27日オープン）
オープン記念ご宿泊ご優待（50%割引 2枚）
- ◆大阪全日空ホテルプレミアムフロア客室（19～23階）限定
ご宿泊ご優待（40%割引 2枚）

- ◆レストラン・バーでのご飲食時のご優待（10%割引券 5枚）
ホテルにより割引対象外となる施設・商品がございます。

- ◆ご婚礼のご優待（1枚）
ご利用になるホテルによりご優待内容が異なります。詳しくは各ホテルの婚礼担当にお問い合わせください。

国内・海外旅行パッケージツアー「ANAスカイホリデー」・「ANAハローツアー」商品のご優待

通常旅行代金より7%割引でご利用になれます。（7%割引券 各2枚）

（注1）代理店でのお申し込みにはご利用になれません。（注2）ANAスカイホリデー商品の内、旅めいく、オプションプラン、一部商品は除きます。（注3）ANAハローツアー商品の内、一部商品は除きます。

空港・ホテル内での買い物ご優待

国内33空港のANA FESTA（全日空商事エアポートショップ）・ANA HOUSE（全日空商事デューティフリー直営免税店）・ANAホテル売店「トリトングート」、および国内5空港のエアーニッポン商事直営売店にて1,000円以上お買い上げの際、ご利用になれます。（10%割引券 5枚）*一部の商品、一部の店舗を除きます。また免税店につきましても一部お取り扱いできない商品があります。

通信販売カタログでのご優待

ANA機内通信販売カタログ ANA SKY SHOPをはじめ、全日空商事の通信販売カタログでご購入の際ご利用になれます。（7%割引券 5枚）※機内販売にはご利用になれません。



ANAインターネットホームページ

国内線、国際線の予約、運航案内、発着案内、ANAからのお知らせ、キャンペーン最新情報などを掲載

ANA SKY WEB
www.ana.co.jp

企業情報

機体工場見学申込みもできます！
www.ana.co.jp/cp/kengaku/index.html



優待券発行基準日 新規に株式を購入される方は、発行基準日（3月31日・9月30日）の5営業日前までに証券会社にてご購入手続きをお済ませください。次回（2005年11月発行分）は、2005年9月26日（月）が権利付最終日となります。

東京（羽田）および名古屋（中部）発着路線は航空券ご購入の際に「旅客施設使用料」を航空運賃とともに空港ビル会社に代わって申し受けております。
●料金額（1名1区間片道）：羽田 100円（小児 50円）／中部 200円（小児 100円）

国内線 ANA国内線予約・案内センター

0120-029-222 24時間受付年中無休V

〈有料〉0570-029-222（携帯電話の場合）
東京 ☎03-3490-8800 大阪 ☎06-6534-8800
札幌 ☎011-726-8800 名古屋 ☎052-962-6211
福岡 ☎092-752-8800 沖縄（那覇） ☎098-861-8800
22:00～6:30および電話が込み合っている場合はVナビ（音声自動応答システム）でご案内いたします。

おからだの不自由なお客様のためのご相談窓口
ANAスカイアシストデスク ☎0120-029-377
FAX ☎0120-029-366 9:00～17:00年中無休

サービスについてのご意見・ご要望窓口
ANAカスタマーデスク ☎0120-029-787 9:00～17:00土日祝

国際線 ANA国際線予約・案内センター

0120-029-333 8:00～19:00年中無休

〈有料〉0570-029-333（携帯電話の場合）

ANA HOTELSのご予約・ご案内
ANA HOTELS予約センター（国内） ☎0120-029-501 ☎03-3505-1181 9:00～17:00土日祝

ANAハローツアーのご予約・ご案内
ANAハローツアー 株主優待デスク
中国方面 ☎0120-747-073 ☎03-6251-8678 9:30～18:30
それ以外の方面 ☎0120-747-860 ☎03-6251-8644 9:30～18:30

ハローお出かけダイヤル
0570-025860 市内通話料金だけでご利用になれます。 9:30～18:30
☎03-6251-8688

ANAスカイホリデーのご予約・ご案内
ANAスカイホリデー予約センター
東京 ☎03-6251-8600 大阪 ☎06-6375-8600
名古屋 ☎052-972-8600 札幌 ☎011-222-8600
広島 ☎082-511-8600 仙台 ☎022-263-8600
沖縄（那覇） ☎098-862-8600 福岡 ☎092-720-8600
※地区により営業時間は異なります。

通信販売のお申し込み・お問い合わせ
全日空商事 ANA SKY SHOPコールセンター ☎0120-283-029 ☎03-3769-2876 9:00～19:00土日祝

9月・10月 ダイヤのお知らせ

- 名古屋（中部）～稚内線を運休いたします。（9/1～）
- 大島～八丈島線：新規就航いたします。（10/1～）
- 新潟～沖縄（那覇）線：運航を再開いたします。（10/1～）
- 高松～沖縄（那覇）線：運航を再開いたします。（10/1～）
- 大阪（関西）～稚内線を運休いたします。（10/1～）
- 高松～札幌（千歳）線を運休いたします。（10/1～）

- 東京～札幌（千歳）線（9/1・13～16・21～23 23往復へ、9/24～30 24往復へ）
- 東京～大阪（関西）線（10/4～6・12～27・31 8往復へ）
- 東京～福岡線（10/4～6・11～23・28～31 18往復へ）
- 東京～佐賀線（3往復へ）
- 大阪（伊丹）～新潟線（3往復へ）
- 大阪（伊丹）～松山線（7往復へ）
- 大阪（伊丹）～長崎線（4往復へ）
- 福岡～対馬線（6往復へ）
- 福岡～五島福江線（4往復へ）

株主メモ

- 決算期日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年4月1日から3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会権利行使確定日 3月31日
利益配当金受領確定日 3月31日
※中間配当金制度は採用しておりません。
株主優待券割当確定日 毎年3月31日及び9月30日
- 1単元の株式の数 1,000株
- 名義書換代理人 住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社証券代行部
- 郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
- 電話照会先(通話料無料) ... [住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417 (24時間自動音声対応)
[その他のご照会] ☎ 0120-176-417 (平日9:00~17:00)
※お届印の変更、名義書換、配当金など、その他株式に関するお問い合わせも、
上記の[その他のご照会] 住友信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。
- ホームページ <http://www.sumitomotruster.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所 住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店
- 名義書換手数料 無料
- 公告の方法 当社のホームページ(電子公告)に掲載します。(<<http://www.ana.co.jp/ir>>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
- 証券コード 9202

株主インフォメーション

★今後の株主様への送付物のご案内

- 株主特別優待券、ANAグループ優待券: 9月末1,000株以上の株主様に11月下旬頃発送予定です。
- 2006年版ANAカレンダー: 9月末1,000株以上の株主様に11月下旬頃より順次『冊子小包』にて発送予定です。
- 第56期中間報告書(2005年4月1日~2005年9月30日): 9月末現在の全株主様に12月初旬頃に発送予定です。
- 単元未満株式買取・買増請求: お手続きの詳細は、弊社ホームページに掲載しておりますのでぜひご利用ください。
投資家情報 (<http://www.ana.co.jp/ir>) - 各種手続きのご案内 ●単元未満株式
※買増請求は2005年9月13日~2005年9月30日については受付停止期間となっておりますのでご注意ください。

上記送付物は株主様のご登録住所に発送いたします。お引越しや住居表示(町名や番地など)が変更された場合にはお手続きが必要となりますので上記住友信託銀行株式会社証券代行部までご連絡ください。お手続きの用紙をお送りいたします。ご連絡をいただきませんと、優待券などの大切な送付物がお届けできなくなりますのでお早めにお手続きください。
尚、「証券保管振替制度」をご利用の場合は、住所変更・買取・買増請求ともにご預託の証券会社へご連絡願います。

全日本空輸株式会社

〒105-7133 東京都港区東新橋一丁目5番2号

総務部 株式担当 ☎ 03-6735-1001 (受付時間 平日9:00~12:00/13:00~17:25 ※但し金曜日は17:20迄/土・日・祝休)

ホームページ <http://www.ana.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています